



かわさき

第102号
議会だより

平成23年5月1日発行

今、私たちにできること…

東北関東大震災募金活動

3月定例会

暴力は許さん

～「暴力追放」を決議～

…2

一般会計は骨格予算

～23年度当初予算可決～

…3

もっと知りたい 委員会レポート

…4～5

写真提供:池尻中学校生徒会

暴力は許さん



「暴力追放」を決議

2月19日未明、町内の民家に拳銃が撃ち込まれる事件が発生しました。安全安心の町づくりが進む中、本町のイメージを大きく失墜させるこの暴挙は、断じて許されるものではありません。

昨年3月、暴力団排除条例を可決したばかりの議会としても、この行為に断固として抗議の意思を示す必要があると判断し暴追決議が提案され、全会一致でこれを可決しました。



暴力追放決議

本年2月19日、本町において発砲事件が発生した。入学式を控えた町内の小学校では集団で登下校を始め、地域住民に大きな不安が広がっている。

これまで福岡県内では、北九州市や飯塚市において発砲事件が発生しており、地域住民の安全で安心な生活を脅かしている。

よって、ここに川崎町議会は、真に安全で安心して暮らせる地域社会の実現に向けて、町民・警察・行政等との強力な結束により、暴力の追放に全力で取り組むものである。以上、決議する。

平成23年3月4日

福岡県 川崎町議会

「遠賀川の管理は国が行うことを求める意見書の提出」は否決

中村、西山両議員名で出された意見書案は、建設産業委員会審査で否決され、本会議でも討論採決の結果、3対15の賛成少数で否決となりました。

政策推進

基本計画認定

議会基本条例の規定により、3年を超える計画は議会の議決が必要になりました。次の計画を原案のとおり認定しました。

○川崎町地域福祉計画

【期間】平成23年度～平成26年度(4年間)

【概要】「地域住民が主体性を持った福祉施策の推進」を主要テーマに掲げています。

○川崎町男女共同参画プラン

【期間】平成23年度～平成27年度(5年間)

【概要】性別に関わりなく、政治的、経済的、社会的および文化的な分野でその個性と能力を十分に発揮できる社会の実現を目的とします。

○川崎町環境基本計画

【期間】平成23年度～平成32年度(10年間)

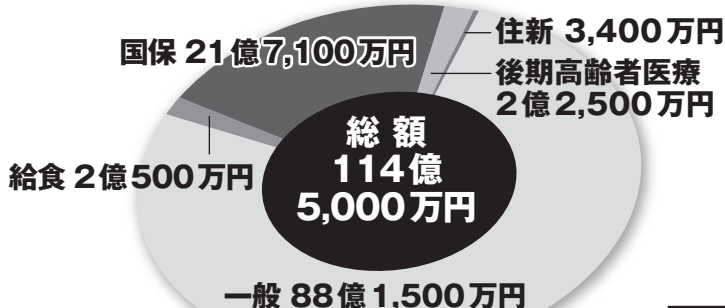
【概要】自然環境等の問題に対処していくため、町・町民・事業者が取り組むべき施策を定めています。

一般会計は骨格予算

今年は町長・議員の改選にあたり、必要最低限の経費を計上する骨格予算となっています。新しい体制が決まり次第、政策的な経費を追加補正する予定です。

総額 **88億 1,500万円**

●普通会計予算の概要



主要な事業予算

○安宅地区簡易給水施設整備	1億 330万円
○荒廃森林整備	2,834万円
○通谷住吉線道路整備	1,210万円
○学校給食センター建設	6億 5,440万円
○統一地方選挙等	2,232万円
○子ども手当	4億 5,053万円
○住民生活に光をそそぐ基金	813万円
○緊急雇用対策	3,851万円
○町立病院企業債償還金	1億 3,355万円

●水道企業会計(支出) 4億 600万円

補正予算

一般会計 4,250万円減額 総額 101億 1,200万円に

予算不用額の整理と国の経済対策交付金関係事業費の追加が行われました。

主要事業

○小中学校TV地デジ化	618万円
○東小学校法面崩壊防止	2,400万円
○大峰ふれあいセンター改修	120万円
○町民会館外壁改修	1,375万円
○勤労青少年ホーム改修	220万円
○自殺、DV、児童虐待等対策基金	1,328万円



請願採決結果

「身近な地域で出産できる助産システムの実現と妊婦検診、出産費用の公費負担による無料化を求める意見書」提出に関する請願は、慎重審議の結果、不採択となりました。

町営住宅家賃滞納金 請求及び 住宅明渡訴訟の報告



財産処分



○種類	土地
○所在	高見団地
○地積	3万301㎡
○処分予定価格	1億1千万円
○おもな内容	

基本的に一括払いですが、本人の申し出により3年以内の分割を認める。ただし、分割希望をする方は、契約書に保証人をつけ、3ヶ月以上滞納した場合契約を解除する。

条例の制定・改正等 (原案可決)

○「川崎町住民生活に光をそそぐ基金条例」の制定

・DV対策ほか弱者対策等の取組強化のために基金を設置する。

○川崎町移動通信用鉄塔施設関係

・同施設の①設置及び管理②事業分担金徴収に関する条例の制定

○川崎町観光リಂಗー園施設関係

・同施設の①受益者分担金徴収条例の制定(分担金1年102万円)と、②設置及び管理運営に関する条例の一部改正。

○川崎町立病院の独立行政法人への移行に伴う関係条例の一部改正

①川崎町個人情報保護条例

②川崎町職員定数条例

③特殊勤務手当に関する条例

④川崎町国民健康保険条例

○特別会計設置条例の一部改正

・田川郡町村公平委員会の事務局を福智町へ移管したことに伴うもの。

○川崎町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正(人事院勧告)

○川崎町営住宅設置及び管理条例の一部改正

・高見団地払下げ及び安全確認の出来ない住宅の解体に伴うもの。

もっと知りたい

委員会 レポート

常任委員会の
活動状況を報告します

総務常任委員会

平成23年1月21日	
結果	項目
関係行政区と協議していく	地縁団体認可事務の現状と今後の見通し

町 の41行政区の中で、区有地を所有する行政区は13行政区、その中で認可地縁団体設立行政区は2行政区、残りの11行政区は地縁団体設立の協議中です。区有地の大半は町の名義になっていて、区と町の区別がつかなく事務に支障をきたしています。国等からの指導で関係行政区に対して、地縁団体設立に向けて説明会を行っています。期限である平成25年度中までに完了する予定との説明がありました。

平成23年2月3日	
結果	項目
企業誘致と人口減少の対策が必要	平成22年度町の税等の収納状況は

現

年度分の決算見込みは、町民税、法人税、固定資産税、軽自動車税とも徴収率は上昇しています。しかし、収納額は逆に減額になっています。平成21年度11億6,045万円が、現年度見込み11億37万円で、6,008万円の減収が見込まれています。減収の主な要因は、「不況や人口の減少等が考えられる」と説明があり、「収納対策については広域的な徴収体制も検討する必要がある」との意見が出されました。

平成23年2月15日	
結果	項目
分譲は景気の低迷等で苦慮しているが、価格の調整や宣伝の強化を図り努力していく	町分譲団地の現地調査

売

却状況は、景気の低迷等で厳しくは34区画中処分分が10区画、未処分分が24区画、「うぐいす台」は17区画中処分分が8区画、未処分分が9区画、東田原団地83区画については、分譲開始時期等について現在検討中。池尻の三ヶ瀬団地造成工事は完了し、6月議会で土地鑑定予算を計上して分譲を進めていきます。

民生文教常任委員会

平成23年1月13日	
結果	項目
大峰は運営組織づくりが課題 安宅は追加の設備投資を検討	ふれあいセンターの運営状況は

旧

大峰小、安宅小は平成19年より「ふれあいセンター」として再利用されていますが、追跡調査を行いました。

大峰は、校舎のみ利用され体育館、グラウンドは未利用。結果的にグラウンド借地料が無駄になっており、検討を要します。地区住民を含めた利用促進の組織づくりが課題です。

安宅は、役場と地域に運営組織が整備され活用が進んでいます。宿泊などの稼働率を上げるためには風呂場、厨房など更なる設備投資が必要です。



▲安宅明蓬館高校の卒業式

先進地政務視察



▲大牟田市を視察

期 日 平成23年1月28日
視察先 福岡県大牟田市
人口10万人を超える都市で、高齢化率全国2位の大牟田市。高齢者に対する先進福祉施策の状況を視察しました。
市内22校区の中で、特に民間の白川病院が中心となって取り組んでいる地域ケアコミュニティづくり事業について説明を受けました。事業推進の核となるNPO法人の設立、認知症フォローアップ開催、徘徊SOS模擬訓練などについて学習。医療ソーシャルワーカーの人材確保がカギになると思われます。

平成23年2月9日	
結果	項目
3月定例議会には 提案できる	環境基本計画策定の 進み具体は

平 成20年10月に環境基本条例が制定され2年半が経過します。計画書が議会になかなか提案されないことから再び調査を行いました。

これまで、職員で組織する策定委員会を12回、外部の有識者で組織する環境審議会を5回開催。原案はほぼ出来上がり3月議会に提出できるとのこと。計画は、スローガンや事業名の羅列にとどまらず、計画予算、計画年次も明記するよう指摘しました。

【民生文教常任委員会から

お詫びと訂正】

議会だより101号に掲載された委員会調査「教育委員会活動点検評価」の検証報告記事において、「同和加配教諭」は、平成14年のいわゆる「地対財特法」終了に伴い廃止されています。したがって、文中の「同和加配教諭」は「人権同和教育担当者」の誤りですので、ここにお詫びして訂正いたします。

建設産業常任委員会

平成23年1月14日	
結果	項目
大雨による災害の復旧状況 及び杏の生育状況の現地調査 確認、杏の追加植え付けを要請	工事が順調に進んでいることを 確認、杏の追加植え付けを要請

昨 年の7月13日から14日にかけての近年にない大豪雨で、町内のいたる所で大小併せて30数箇所の被害が発生したことは、過日報告したとおりまだ記憶に新しいことと思います。

当委員会では去る1月14日、その後の災害現場の現地調査を行いました。

B & G海洋センターの入口左側道路及びテニスコート横道路で発生した法面の崩壊、陥没の現場では、いずれの箇所も復旧工事は順調に進んでおり、工期等については何ら問題がないようでした。

黒木の淡島神社先の十郎口黒木線の災害現場は、厳冬で残雪が多いため道路状況が非常に悪く、途中で調査の中断もやむを得ないと思いましたが、調査を続行しました。現場は谷底の方まで被害を受けており、2か所とも大変危険性の高い場所で作業をされておりしました。施工にあたっては安全の確保に十分配慮するようお願いして調査を終了しました。

次に杏の生育状況について調査を行いました。杏の木は安宅地区を中

心に3年前より緑の募金を活用して杏の苗の植え付けを始め、現在400本ぐらいの杏が40箇所に分かれて植わっています。果実ができ始めるまでに7年から8年ほどかかること、猪、鹿等の被害がかなりあるということ、生育状況は非常に悪く、また本数も少ないことから杏の里と呼ぶには程遠いという印象でした。枯れた苗木の植替え、更には苗の追加植え付けをするよう要請いたしました。

最後に、安宅の滝の現状及び学校給食センター改築工事の進捗状況を確認して調査を終了しました。

平成22年度 議員会議出席表

	会議数	出席数	欠席数	欠席理由			出席率 %
				届出欠	公欠	病欠	
小田 勝彌	57	28	29	23		6	49
見月 勸	57	55	2	2			96
岩口 義博	56	55	1	1			98
西本 泰博	38	36	2	2			95
奈木野 康徳	39	39	0				100
大谷 春清	46	44	2	2			96
瓜野 かをり	46	45	1	1			98
繁永 英樹	39	39	0				100
櫻井 英夫	64	64	0				100
松岡 久代	64	64	0				100
北代 俊雄	56	56	0				100
伊藤 英明	38	34	4	4			89
谷口 武雄	38	34	4	1		3	89
中村 内廣	56	55	1	1			98
有田 浩二	57	42	15	15			74
手嶋 恵朔	46	40	6	5		1	87
西山 賢俊	64	63	1	1			98
奥 春男	39	39	0				100
森元 秀美	19	19	0				100

平成22年4月～平成23年3月までの本会議、議会運営委員会、常任委員会のみ



▲上真崎の杏



中村 睦子さん
(奥谷)

今月は、奥谷の中村睦子さんにお話を伺いました。

日頃から、川崎町議会に多大な協力をいただきまして、ありがとうございます。先日1月20日に高知県梶原町議会が来町した際、中村さんのお父様の故郷が梶原町の近くだということで、研修会を傍聴されましたが、そのときの感想をお聞かせください。

中村さん 今まで議員がこんなに熱心に、研さんを重ね、議会に臨まれていることを知りませんでした。みなさん一生懸命になって、基本条例に書いてあるとおり、開かれた議会、信頼される議会を目指して取り組まれている姿に感銘しました。

高知県梶原町の議員の質問にもスライドを使って、納得のいくわかりやすい説明ができていたと思いました。また基本条例を作るために2年間に40回もの会議を重ね、そんなご努力、ご苦労があったことも知りました。昨年の議会報告会にも参加しましたが、やはりこのように議事を身近に感じることができてよかったと思いました。またこれからも全国から川崎町議会を視察に訪れると思いますが、そのような機会には、時間が許すならば是非川崎町の観光もしていただければと思います。全国に川崎町を知ってもらえるよい機会になるかと思

います。本当に川崎町議会はすばらしい議会だと思います。これからご活躍を期待しています。

このような傍聴の機会をいただき、貴重な体験をすることができました。本当にありがとうございます。

議会だよりは、編集委員6名で自ら手分けをして、原稿を書いています。感想をお聞かせください。

中村さん よく読んでいます。議会だよりを編集している議員は、本当に議会のことを思って、町民にわかりやすく知らせるためによく編集していると思います。見出しが大きくわかりやすく、親しみのもてる議会だよりだと思います。

貴重な時間をありがとうございました。今後とも川崎町議会にご協力よろしくお願いいたします。

画龍点睛

3月11日に発生した東日本大震災は阪神淡路大震災の規模を大きく上回り、歴史的な大惨事となった。自然は、時として私たちの想像を遥かに越えて牙をむく。被災した多くの方々に対し心からのお悔やみとお見舞いを申し上げます。◀悲しみは深い。しかし、日本人の不屈の精神は、いずれそれを乗り越えよう。なぜなら先の大戦を乗り越えよう。300万人以上の同胞を失いながらも、僅か20年余りの歳月で復興を成し遂げた事実は、世界の奇跡とまで評されているからだ。◀その原動力は国民同胞のDNAの持つ強烈な支えあい精神の高さに依ると言っても過言ではあるまい。◀議会運営とて同じ。私ども委員の任期は満了するが、新たな委員により、さらに充実した議会だよりが届けられることを祈りつつ(了)

【議会だより編集特別委員会】

委員長
副委員長

中伊奈瓜櫻
村藤永木野井
内英英康を英
廣明樹徳夫



はえばる 沖縄県南風原町議会が来町



1月17日、沖縄県南風原町議会議員11名が、川崎町議会運営全般、議会改革・活性化の取り組みなどについて研修するため、視察に訪れました。

ゆすはら 高知県梶原町議会が来町



1月20日、高知県梶原町議会議員11名が、川崎町議会基本条例制定後の変化について研修するため、視察に訪れました。

議会日誌

1月	常任委員会	13日	民生文教委員会
		14日	建設産業委員会
	特別委員会	21日	総務委員会
		28日	民生文教委員会
		12日	議会だより編集委員会
		20日	議会だより編集委員会
2月	常任委員会	3日	総務委員会
		9日	民生文教委員会
	議会運営委員会	15日	総務委員会
	全員協議会	23日	民生文教委員会
		4日	
		18日	
3月	定例議会	4日	本会議(初日)
		7日	常任委員会
		9日	本会議(中日)
		10日	常任委員会
		11日	補正予算特別委員会
		14日	予算特別委員会
		15日	予算特別委員会
		16日	本会議(一般質問)
		17日	本会議(最終日)
	議会運営委員会	1日、8日、29日	
	特別委員会	17日	議会だより編集委員会
		25日	議会だより編集委員会